

# 道徳の学習指導案の枠組例と記入のポイント〈整理版〉

## 第〇学年道徳学習指導案

日時：平成 年 月 日（ ）第〇校時

場所：〇〇〇〇教室

対象：第〇学年〇組〇〇名（男子〇名・女子〇名）

指導者：〇〇 〇〇 印

### 1 主題名 ……………（指導内容〇—(〇)…………）

※学習するテーマとしての主題について、短くまとめて表現する。

### 2 資料名 「……………」(出典：…………)

※中心的に生かす資料と、その出版社、作者等の出典を明らかにする。

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

※主題設定の理由」は、この(1)(2)(3)のように、  
1)価値観、2)児童・生徒観（子ども観）、3)資料  
観の3つについて整理して記入することが多く、  
そこに教師の指導観が織り交ぜられるようにする。

※ねらいとする内容（価値）についての教育的な意義や、教師の受け止めについて記述し、本主題の指導をどのように方向付けるのかを整理する。

#### (2) 子ども（児童・生徒）の実態について

※ねらいとする内容に関して、実際に指導する学級の子どもの実態をとらえどのように育てほしいのかの願いも含めて示す。

#### (3) 資料について

※本指導で生かす中心的な資料の内容についての受け止めと、その生かし方や指導の中心的な手立てなどについて示す。

#### (4 〇〇〇〇〇〇〇〇)

※複数時間の関連を図った指導の場合は、指導区分を示すようにする。  
※教師の指導の意図や重点を強調するために、例えば、「指導の主な手立て」「本指導の重点」「他の教育活動などとの関連」「体験活動との関連」などをここや再議の場所に新たに柱立てをし、特記することも考えられる。

#### 4 本時のねらい

※ねらいとする内容について、どのような角度から指導するのか、また道徳的心情や判断力、態度などのどんな側面に重点を置いて指導するのかについて簡潔に示す。

#### 5 本時の展開

時間	学習活動（主な発問と予想される生徒の意識）	指導上の留意点（※評価の観点）		
○分 ○分	<p>※本時の流れの記入枠は、縦2～3枠に分けて組まれることが多い。 授業者の意図を表しやすく、理解してもらいやすい形を生かすようにする。</p>			
	学 習 活 動	予想される発問と子どもの意識の流れ	教師の指導の手立て	
導 入	1. ……	○……	◇……	
展 開	2. ……	①…… ……	※それぞれそれぞれの学習場面での工夫やその場での指導のポイントなどを織り込む。 例えば、演技的な活動、討論的な話し合い、ノートの工夫、板書での工夫、個別指導での配慮、話し合いの着眼点などについて示すことが考えられる。	
	3. ……	②…… ……		◇……
		※授業の中心部分に紙幅をとって、子どもの考えの違いや対立などが浮き彫りになるように表現する工夫が重要。		※この欄の節目となる箇所に評価の観点を示すことも見られる。
	4. ……	○……	◇……	
	※資料を通して考えたことを自分たちの生活や生き方に結び付けて一層深めるための話し合いを位置付けることも多い。			
終 末	5. ……	○… …	※学習をまとめたり、印象付けや発展的な工夫をしたりする。	

#### (6 本時の評価について)

※本時や本指導全体の評価についてその観点や方法を記すことも見られる。